

令和5年度 流山市立常盤松中学校 学校経営方針

学校教育目標

学び・鍛え・磨く

校訓「全力投球」

～可能性は無限大～

学校経営の根幹は、主役である生徒一人ひとりに向ける教職員の教育愛と使命感にある。一人ひとりの子どもに夢（目標）を持たせ、様々な教育活動の中で思いやりを育み、自信をもって社会に貢献できる人間に育て上げていくことが大きな役目である。本校教職員は個々の専門性、経験、想い等を「自分らしく」教科指導・学級経営、職務に活かし、組織として協働・同僚性を意識し、全職員で生徒の力を引き出す教育実践に取り組んでいきたい。子どもに関わる全ての人の力を結集して、指導・支援にあたる。

1 教育課程編成の方針

学校の核となる授業	主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業改善
魅力ある教育課程	カリキュラムマネジメントの充実による教育活動
地域の中の学校	家庭や地域社会との連携・協働

2 めざす生徒像…「自分の考えに自信をもち」

(1) 自ら学ぶ生徒

自ら課題を見付け、自ら考え、判断して行動し、自己実現を図ろうとする生徒

(2) 自ら鍛える生徒

明るく健康で、仲間との協働、自他の命を大切にする生徒

(3) 自ら心を磨く生徒

自分や他者・社会を知り、何をすべきか考え、地域や社会に貢献しようとする生徒

3 めざす教師像

(1) よりよいものは何かを考え、挑戦する教師

① 生徒の学び・成長につながるかを考えながら、生徒の気持ちに寄り添い、安心と自信を与える。

② 生徒と共に行動し、共に汗を流し、感動を共有する。

(2) 生徒の学び合いを支え、同僚との学び合いを大切にする教師

① 楽しく分かりやすい授業の実践に努め、一人も見捨てない。

② 「報告・連絡・相談」を実践し、同僚との良好な関係を築く。横の連携と縦の連携を大切にする。

③ お互いに励まし合い、切磋琢磨し、共に成長できる関係を築く。教職員の良好な関係が、生徒の良好な仲間関係を構築する。

(3) 信頼を得て、生徒のために家庭・地域と連携できる教師

① 生徒の後ろには保護者がいる。保護者の後ろには家族や地域の方々がいる。そのことを常に意識した言動・振る舞いが大切である。時を守り、場を清め、礼を正す。

- ② 保護者と協力して子どもの教育にあたる。「共育・協育・今日行く」迅速・丁寧・誠実を常に意識する。

4 めざす学校像…愛され、誇りとなる学校（常中プライド）

○生徒にとって…自らの成長が実感できたとき→誰もが安心して精一杯学び合える学校

○地域・保護者…生徒の望ましい姿を見ることができたとき

→信頼して子どもを任せられる学校

○教職員にとって…生徒の成長に手応えを感じたとき→生徒達を誇りにできる学校

5 学校経営の基本方針「安心・安全・案じ合える学校」

- (1) 整備され、安全・安心な生活ができる学校
- (2) あいさつ、返事、歌声の響く活気ある学校
- (3) いじめ、交通事故、不祥事、重大事故0をめざす学校
- (4) 教職員の資質・能力の向上を図り、学びに向かう力を育てる学校
- (5) 組織的に活動する学校
- (6) 家庭、異校種、地域学校協働本部事業等との連携・協働を大切にする学校

6 経営の重点

(1) 学校経営

個々の専門性、経験、想い等を「自分らしく」教科指導・学級経営、職務に活かす。
また、組織としては協働・同僚性を意識し、生徒の可能性を引き出す教育を推進する。

- ① 主任会、企画委員会を重視し、自主的な企画、運営、評価を繰り返し実践する中で活動の充実をはかる。（PDCAの実践活用）
- ② 教科部会を通して教師一人ひとりの指導力や専門性を高める。また、グループ学習の形態を工夫、研究し、「わかる授業の実践」学びの環境づくりを推進する。
- ③ 地域学校協働本部コーディネーターと連携し、地域の教育力を有効活用することで地域、家庭、学校が開かれた関係を築き、保護者や地域の力強い応援を戴きながら、地域に愛される学校教育を目指す。
- ④ 小中高連携を工夫し、自信をもって社会に貢献できる人間育成を目指す。

(2) 学習指導

「みんなが学びに参加する授業」を目指す。

- ① 基礎基本を大切に生徒の実態に応じた教材・教具、授業形態、ICTの活用等を工夫し、「わかる授業」を行う。
- ② 日々の学習の積み重ねを大切にし、生徒指導の機能を生かして自己肯定感を高める授業実践を行う。
- ③ 思考し、表現する力を高める実践モデルプログラムの活用を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ④ 英語、漢字、数学等の検定試験へ積極的に挑戦させる。

(3) 生徒指導

生徒と語る時間を大切にしたい、温かい人間関係を構築し、生徒理解に努める。
「褒める」「励ます」を積極的に取り入れ、真面目さを大切にする指導の充実。

- ① 社会の様々な変化に対応することができる生徒を育成する。
（国際的視野に立った社会人としての資質を身につけさせる）
- ② 基本的な生活習慣を柱として、常盤松憲章に基づいて規範意識を大切にする生徒の

育成に努める。

③ 教育相談・カウンセリングの充実を図り、不登校対策を積極的に推進する。

④ いじめや問題行動・不登校の早期発見・即対応・組織対応に努め、再発防止の協力体制を強める。

⑤ 公共物や掲示物の破損には、危機感を持って対処する。

(4) 体育・健康・安全・食育指導

心身ともに健康で、運動に親しむ生徒を育てる。

① 健康で安全な生活を営む基本的な習慣を身につけるとともに、危険予知能力・回避能力を高める。

② 性に関する指導、薬物乱用防止に関する指導に努める。

③ 部活動の意義を浸透させ、チームづくりを意識した練習を行う。

④ 食に関する指導の充実を図る。

(5) 道徳教育

生きる力の基盤となる豊かな体験活動を通して、主体的に考え、話し合い、互いに感動を深める。

① 生命・人権を尊重する教育を推進し、自他ともに思いやりの心の育成を図る。

② 道徳の授業を計画的に実施し、学校全体で道徳教育を推進する。

③ 道徳教育推進教師を中心に教師間の連携を図り、全ての教育活動において、生徒のモラルの向上を図る。

④ 体験活動を充実させる。

(6) キャリア教育

すべての教育活動を通じて、働くことの意義を学び、より良い生き方を考えるとともに、主体的に進路を選択できる力を身につける。

① 職業人講話・職場体験学習・進路希望先の訪問を通し、キャリア教育の充実を図る。

② 生徒が働くことに夢や希望が持てるよう、教職員が働いている姿で表す。

③ 体験活動やキャリアパスポートの活用を計画的に実施する。

(7) 特別支援教育

学校体制の整備し、全校で特別支援教育を推進する。

ユニバーサルデザインに配慮し、すべての生徒にとって学びやすい環境をつくる。

① 生徒の実態と保護者との連携を大切にしながら、教育的ニーズに応じた個別指導支援を行い、自立した生徒を育てる。

② 障害のある生徒と障害のない生徒の交流及び共同学習の推進に努める。

(8) 職員研修

日常の教育活動の充実と連携、学年会・主任会・教科部会等の充実、各研修の計画的な実施に努め、教職員としての資質及び技能の向上を図る。また、教師の世代交代が急速に進む中、若手、ベテラン教師が率直な意見交換を行い、協働した教育活動の強みや効果を実感しながら活力ある学校づくりを推進する。

① 学年会・教科部会を中心に日々の実践を大切にする。

② 若年層研修を短時間で回数多く実施し、日々の実践力の向上を図る。

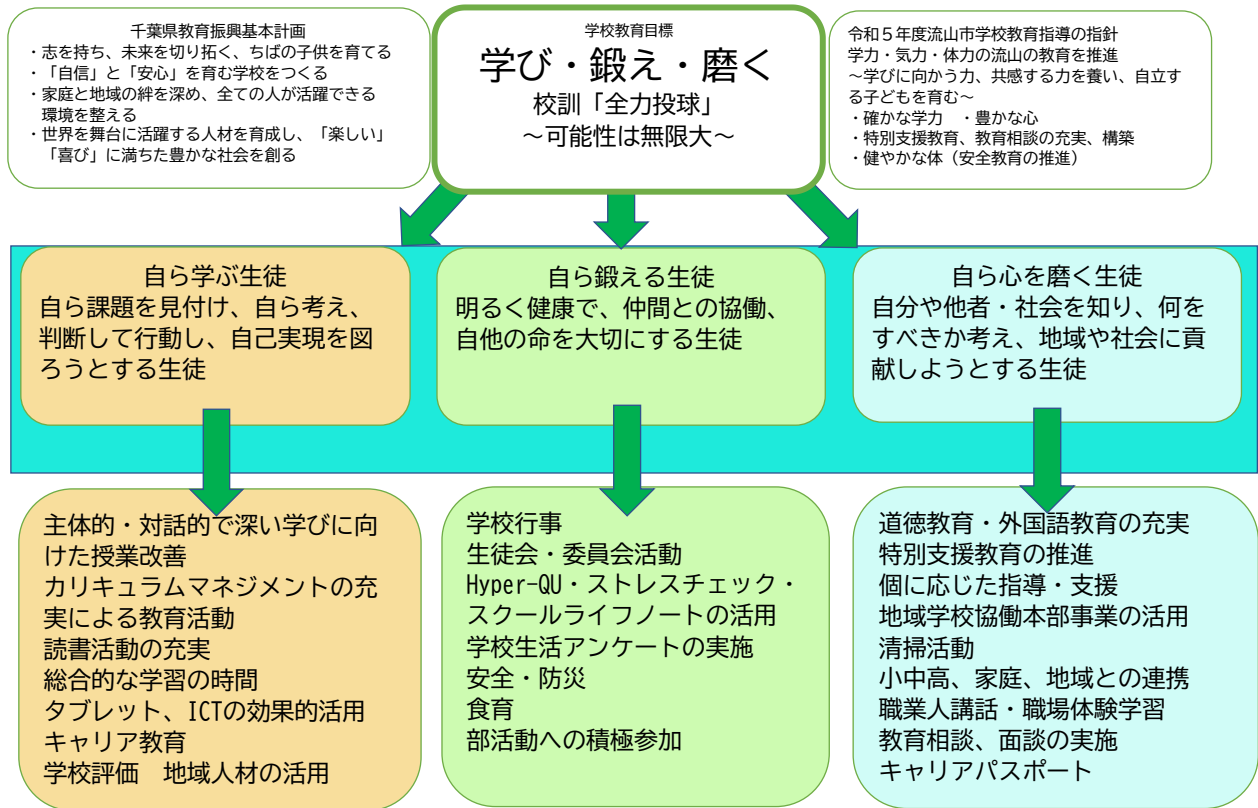
③ 授業研修を通して、わかる授業づくりや学習指導要領の理解を進め、授業力の向上と授業を通した生徒指導の充実を目指す。

(9) その他

① 働き方改革を積極的に進められるように、勤務時間の適正化に向けた業務改善及び部活動の在り方や教育課程の見直しを継続する。

流山市立常盤松中学校 令和5年度グランドデザイン

ミッション：自分の考えに自信をもち、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となる



言語能力, 情報活用能力, 問題発見・解決能力, コミュニケーション能力

学校経営の基本方針

整備され、安全・安心な生活ができる学校

あいさつ、返事、歌声の響く活気のある学校

いじめ、交通事故、不祥事、重大事故0をめざす学校

教員の資質・能力の向上を図り、学びに向かう力を育てる学校

組織的に活動する学校

家庭、異校種、地域学校協働本部事業等との連携・協働を大切にする学校

めざす学校像

愛され、誇りとなる学校（常中プライド）

- 生徒にとって…自らの成長が実感できたとき
→誰もが精一杯学び合える学校
- 保護者にとって…生徒の望ましい姿を見ることができたとき
→信頼して子供を任せられる学校
- 教職員にとって…生徒の成長に手応えを感じたとき
→生徒達を誇りにできる学校

めざす教師像

- よりよいものは何かを考え、挑戦する教師
- 生徒の学び合いを支え、同僚との学び合いを大切にする教師
- 信頼を得て、生徒のために家庭・地域と連携できる教師

教職員の働き方改革推進

- 応答電話の設置
- 学校閉庁日の設定
- 電子配付による印刷業務の削減
- メール機能、ホームページの活用
- 地域学校協働本部事業の活用
- 部活動ガイドラインの順守
- 会議時間短縮、内容の精選